

## BR15 R2R概要

BR15 R2R HD Bluetoothレシーバーをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、広州飛傲電子科技有限公司が丹精込めて開発した Bluetoothレシーバー兼デジタル信号デコーダーであり、2系統のRCAシングルエンド出力、1系統のXLRバランス出力といったアナログライン出力に加え、1系統の同軸デジタル出力、1系統の光デジタル出力など豊富な端子を備えています。

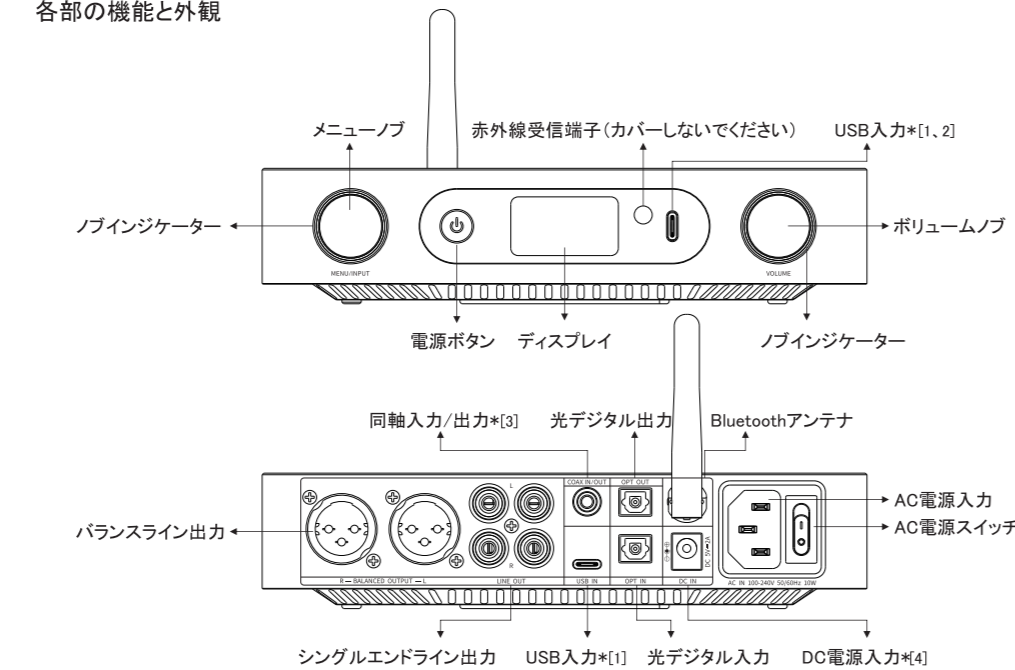
Bluetoothチップには Qualcomm社製 QCC5181 を採用し、LE Audio規格に準拠。Bluetooth 5.4に対応し、LDAC、aptX HD、aptX LossLessなど多様なBluetoothコーデックをサポート。伝送ビットレートは最大1.2Mbpsに達し、BluetoothでもCDクオリティのロスレス音質を実現。繊細な音のディテールを忠実に再現し、あたかもライブ会場にいるかのような臨場感をお届けします。

DACには24Bitの「R2R」ディスクリット抵抗マトリックスを採用。合計192個の高精度・低温ドリフトの精密薄膜抵抗により、独特の味わい深い音質を実現しています。

1.47インチカラーディスプレイはBluetoothモード時に曲名や歌詞などの情報表示に対応。さらに独立した2つのノブ（音量/メニュー用）、赤外線リモコンと組み合わせ、快適な操作体験を提供します。

## 日本語 HD Bluetoothオーディオレシーバー

### 各部の機能と外観



## 日本語 HD Bluetoothオーディオレシーバー

### 操作説明

電源と電源オン/オフ  
BR15 R2RはACとDC両方の電源に対応しています。AC電源を使用する場合は、まずDC電源を外し、AC電源コードを接続し、AC電源スイッチをオンにしてください。外部DC電源を使用する場合は、DC電源の出力電圧が5V、出力電流が2A以上であることを確認してください。BR15 R2Rが電源オンの場合、電源ボタンを短押しすると画面の消灯/点灯が可能であり、電源ボタンを長押し、または赤外線リモコンを使用することで、BR15 R2Rをシャットダウン状態にすることができます。BR15 R2Rが電源オフの場合、電源ボタンを短押し、または赤外線リモコンを使用することで、BR15 R2Rを起動することができます。

### ノブ操作

●ボリュームノブ  
BR15 R2Rの電源を入れた後、ボリュームノブを回すことで音量を調節できます。画面が点灯している状態でノブを短押しすると、ミュート/ミュート解除の操作が可能です。

●メニューノブ  
●動作モードの切り替え  
メイン画面でメニューノブを回すと、動作モードメニューに入ります。ノブを回すことで、USB/OPTICAL (光デジタル) / COAXIAL (同軸) / Bluetoothの4つの動作モードを順番に切り替えられます。目的のモードで短押しすると選択され、メイン画面に戻ります。他のモードに切り替えたくない場合は、ノブを長押しするとメイン画面に戻ります。

●設定メニュー  
メイン画面でメニューノブを短押しすると設定メニューに入ります。ノブを回して設定項目を選択し、短押しで確定します。設定メニューでノブを1秒間長押しすると前のメニューに戻れます。また、メニュー内の「戻る」アイコンを選択し、確認すると前のメニューに戻ることもできます。

### 動作モード

BR15 R2Rには以下の4種類の動作モードがあります。

## 日本語 HD Bluetoothオーディオレシーバー

●USB: USBデコードモード、スマートフォンやPCと接続してデコード可能。BR15 R2Rの2つのUSB端子に同時にデバイスと接続した場合、フロントパネルのUSB端子が優先され、リアパネルのUSB端子は無効になります。スマートフォンと接続してデコードする場合、BR15 R2Rはスマートフォンの電力を消費しません。

(注: Windows システム搭載のパソコンをUSB デコードモードに接続する際は、公式サイトからUSB DAC ドライバーをダウンロードし、対応するチュートリアルに従ってドライバーをインストールする必要があります。ダウンロードアドレス: <https://support.fii.jp/hc/ja/articles/42852146251801> ※Mac OS X システムは、このドライバーをインストールする必要はありません)

●OPTICAL (光デジタル): 光デジタルデコードモード、光デジタルオーディオ出力デバイスと接続してデコード可能。

●COAXIAL (同軸): 同軸デコードモード、同軸出力デバイスと接続してデコード可能。

●Bluetooth: Bluetoothデコードモード、Bluetooth オーディオ出力に対応するデバイスと接続してデコード可能。初めてBluetooth受信モードに切り替えると、BR15 R2Rは自動的にペアリング状態になり、画面に「ペアリング中...」と表示されます。再びBluetooth受信モードに入る場合は、最後に接続したデバイスに自動的に再接続します。BR15 R2RはaptX-Lossless/aptX-Adaptive/aptX-HD/aptX/LDAC/AAC/SBC/LC3など複数のBluetoothコーデックに対応しています。Bluetoothモードで再生する場合、BR15 R2Rの画面に曲名と歌詞を表示することができます。

各Bluetoothコーデック利用時、ステータスバーには以下のように表示されます。

Bluetooth エンコード	aptX-Lossless	aptX-Adaptive	aptX-HD	aptX	LDAC	AAC	SBC	LC3
ステータスバー表示	aptX-LS	aptX-AD	aptX-HD	aptX	LDAC	AAC	SBC	LC3

注1: BR15 R2R Bluetoothはオーディオ再生専用であり、通話機能には対応していません。  
注2: 曲名と歌詞表示機能は、Bluetooth送信側のシステムやアプリに対応している場合のみ、BR15 R2Rに表示されます。

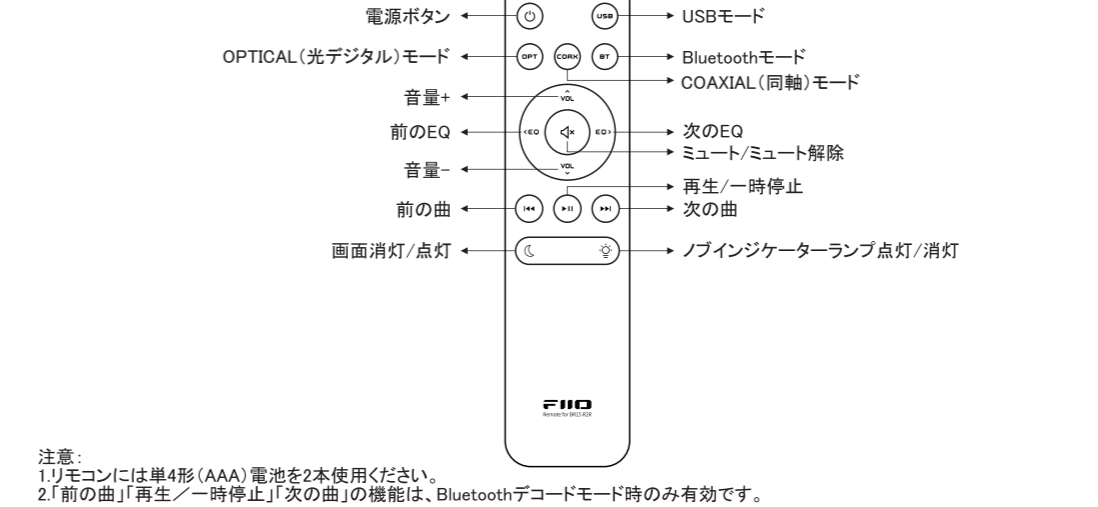
### イコライザーの使用法

BR15 R2Rはイコライザー調整機能に対応しています。PCシステムまたはスマートフォンアプリでイコライザーを調整できます。PCでイコライザーを使用する場合は、BR15 R2RをUSBモードに設定し、設定メニューでEQを非オフ状態(オフ以外のオプション)に設定してください。その後、USBケーブルでBR15 R2RのUSB端子をPCに接続します。リンク<https://fiioccontrol.fii.com/>にアクセスし、「接続」をクリック、FIIO BR15 R2Rを選択して「接続」をクリックすると、EQ設定が可能です。スマートフォンでイコライザーを使用する場合は、FIIO ControlアプリのQRコードをスキャンし、対応するアプリをダウンロードして使用してください。



## 日本語 HD Bluetoothオーディオレシーバー

### 赤外線リモコンの説明



注意:  
1. リモコンには単4形 (AAA) 電池を2本使用ください。  
2. 「前の曲」「再生/一時停止」「次の曲」の機能は、Bluetoothデコードモード時のみ有効です。

注意事項  
★システムに異常が発生した場合、再起動するか電源プラグを抜き差しすることで正常に動作することができます。  
★過大な音量による聴力障害を防ぐため、試聴前に適切な音量に調節してください。  
★本製品内部には高電圧が存在します。お客様ご自身の修理、分解はご遠慮ください。また、水気のある場所に置かないでください。

## 日本語 HD Bluetoothオーディオレシーバー

### 本体と付属品

- BR15 R2R本体
- 赤外線リモコン
- AC電源コード
- 赤白RCAオーディオケーブル
- クイックスタートガイド
- 保証書

### さらに詳しく

- BR15 R2Rに関するビデオ説明とよくある質問 (FAQ) については、BR15 R2R FAQ の QR コードをスキャンしてください。
- 製品の詳細については、当社の公式サイト [www.fii.com](http://www.fii.com) をご覧ください。

